

第5回 新潟県立看護大学振興協力会総会を開催しました

令和元年8月28日(水) 於: デュオ・セレッソ

成果発表会

総会の前に、振興協力会が支援している大学の国際交流事業について長谷川副学長から報告がありました。

平成30年度は、エジプト看護管理者11名が本学及び上越地域の医療施設で約1週間の研修を行いました。この研修は、日本政府とエジプト政府による「エジプト・日本教育パートナーシップ」に基づく人材育成事業として、『看護ケアの質向上』『看護職のリーダーシップ・管理能力の改善』を目的に、長野県の佐久大学が受託した事業を、本学で一部担当したものです。

研修生は上越市の病院が大都市の病院と同様に質の高い医療・看護サービスを提供していること、医師・看護師ら多職種が緻密に協働していることに驚いており、実際に見学した看護管理の考え方や仕組みをエジプトで取り入れたいという声があったことが報告されました。



総会

総会では、平成30年度の事業報告および決算の説明と令和元年度の事業計画および予算の審議を行い、原案のとおり承認されました。

石田会長からは上越市の人口減阻止に新潟県立看護大学が寄与していること、上越地域を盛り上げていくための本会の役割などのご説明がありました。



懇親会

総会終了後は、看護大学と地域との今後の交流や発展についての話し合いや協力会員の連携を深めるために懇親会が開催されました。

また、来賓である上越市、妙高市、糸魚川市からは、看護大学卒業生が行政現場等で活躍している様子や大学への励ましの言葉をいただきました。

最後に西脇幹事から閉会の挨拶をいただきました。

